

「冬のスター☆フユイチゴ」

春の訪れの時季ですが、冬の森を今年も賑わせたフユイチゴの話です。

フユイチゴはその名のとおり冬に実をつけるキイチゴの仲間です。他のキイチゴの実が終わった頃、小さな白い花が咲き、冬に赤い実をつけ、食べることができます。

私が初めてフユイチゴを食べたとき、初夏に実をつけるクマイチゴやモミジイチゴの味を思い浮かべ期待しながら食べたためか、未熟な実を口に運んだためか、その味にがっかりしたことを覚えています。

一方、冬の野生動物には人気で、種子がいっぱい詰まったフンを見つけることができます。しかし、毎年同じように実が食べ尽くされている訳ではありません。そんなフユイチゴですが、今年は久しぶりに食べてみたくなりましたが、どこを歩いても食べ跡ばかりで実を見つけることはできませんでした。今年は、特に野生動物にとって人気（重要）な食料だったようです。

1月のコレンジャー活動は、4年前に作った「動物のレストラン」へ行きました。そこは、冬の野生動物に利用されるフユイチゴやミヤマフユイチゴ、ジャノヒゲ、ヤブランを移植し、毎夏にコ



フユイチゴの実が何者かに食べられ、ヘタだけが残っている

レンジャーと管理し育てている場所です。針葉樹の森の林床で日当たり良好とはいえませんが、徐々に広がり夏にはつぼみをつけてくれていましたが、食べ跡だらけでした。「動物のレストラン」が利用されていたことや、植えた訳ではないクリやサンショウ、モミジイチゴが成長していたことも、子どもたちと確認できました。

フユイチゴは、種子から芽を出すだけでなく地面をほうのように伸びた茎から根を下ろし、群落を広げるといった2つの方法で繁殖します。針葉樹の森でも間伐や枝打ちによって林床に少しでも日が入ると群落がつくられることがあるので、色彩の乏しい冬の森に赤く輝くフユイチゴが実る小さな果樹園のような場所に出会えるかもしれません。（加瀬澤）